

春日野小学校基本方針

京都市立春日野小学校

春日野小学校教育目標

互いを尊重し合い、自らの未来を切り拓こうとする子の育成

学校経営方針



チーム春日野で「学力向上」を図る

<一点突破>

本校児童には、様々な課題がある。しかし、あれもこれも克服しようとして、結果を得られないこともある。(二兎を追う者は一兎をも得ず)

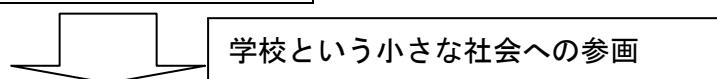
そこで、今年度は「学力」に焦点を絞って、今まで以上に優先的に取り組むこととした。当然ではあるが、未来を切り拓くためには、学力をはじめ社会性・人権感覚・規範意識など様々な力の育成が欠かせないことは、言うまでもない。しかしそれらは、学力を向上させることやその課程で身につけさせるべきだと考えている。(温故知新)

なぜ学力なのか

◇調和のとれた人間の育成（教育基本法） \rightarrow 生きる力の育成（学習指導要領）



春日野小学校教育目標 \rightarrow 自らの未来を切り拓く子



基礎的・基本的な知識と技能を習得し、これらを活用し課題解決できる。

そのため

<知>

- 思考力
- 判断力
- 表現力 etc.

<体>

- 健康の保持
- 増進

<徳>

- 道徳性
 - 基本的生活習慣
 - 規範意識

主体性

授業参画

基礎的・基本的な知識と技能という狭義の学力

春日野教育理念

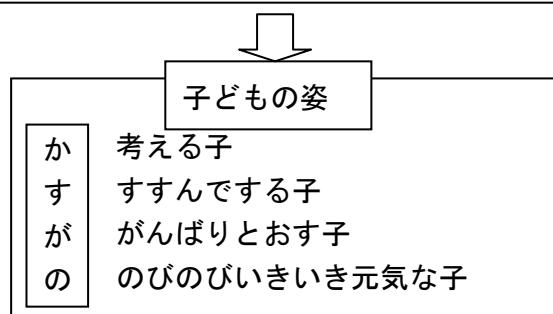
他流試合も必要

- ・研究会テスト
- ・プレ・ジョイプロ
- ・ジョイプロ
- ・全国学力学習状況調査 etc.

◇子どもたちは、安心できる環境の下で力を発揮し成長できるはずである

安心できる環境とは

- 学校生活に秩序・規律と思いやりがある
- 学習に規律がある（落ち着いた雰囲気の下で考え、お互いが聴きあえる学級集団）
- 学習に見通しをもてる（学習の進め方がわかる、困ったときにどうしたらいいのかがわかる、個に応じた指導がなされている）➡ 学習のユニバーサル化



◇学力向上に向けたチーム春日野の教職員

- 身近な見本であるという自覚
日ごろの自分の言動が、お手本になっているのか（服装、言葉遣い、覇気、礼節、etc.）
- ユニバーサルデザイン化された授業をスタンダードとして実践（算数）
教材研究・教材準備を怠らない
- OJTを意識した教職員集団
より良い自分を探究（教員・事務職員・管理用務員・給食調理員・管理職として）
互いに高め合う
総合教材ポータルサイトの活用
- 共有・徹底・継続
やるからには力を結集し、根気よく指導を続ける

主任を中心として、学力向上と自主性の育成を目指した取組

◇取組の柱

学力

- 普通授業の工夫、充実
- 読書指導の充実
- 家庭学習
- 各種テストの効果的な利用
- 学習意欲を高める空気の醸成

自学自習

人権学習

- 同和問題指導の充実と共通理解
- 樹学習、生活科の充実
- 人権タイムの充実
- 道徳の指導の充実
- フレンズ活動の工夫

人権が尊重される社会